

「地域づくり表彰・国土交通大臣賞」受賞に引き続き サントリー地域文化賞受賞！！ 取手アートプロジェクト

取手アートプロジェクト（TAP）は、昨年度の地域づくり表彰「国土交通大臣賞」に引き続き、第29回サントリー地域文化賞を受賞致しました。今回の受賞は、TAPが市民・芸大・行政が一体となったさまざまな取組みと試みを通じて、市内や周辺からの多くの人を巻き込み、アートによる新たなまちづくりを成功させたことが受賞の理由であり、引き続き地域社会において活動を続け、さらなる文化の発展へ貢献することへの期待が現れたものです。



写真：サントリーでの記者会見にて

サントリー地域文化賞とは、全国各地で展開されている芸術、文学、伝統の保存・継承、環境美化、衣食住での文化創出、国際交流などの活動を通じて地域の文化向上と活性化に貢献した個人、団体に贈呈されるものです。今年度は32件の推薦から全国で5件が選ばれました。贈呈式は8月2日（木）午後5時よりANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）にて予定されています。

サントリー地域文化賞ホームページ（<http://www.suntory.co.jp/sfnd/chiikibunka/index.html>）

本展に関するお問い合わせ：

取手アートプロジェクト実施本部 〒302-0024 茨城県取手市新町 2-3-16（OPEN：火・金 13:00～17:00）

TEL/FAX: 0297-72-0177 E-mail: tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp Web: <http://www.toride-ap.gr.jp>

担当：宮川智美 090-7194-0600 / 中山亜美 080-5544-6597 *2007年5月より住所が変更になりました。

取手アートプロジェクト 2007

会期決定!

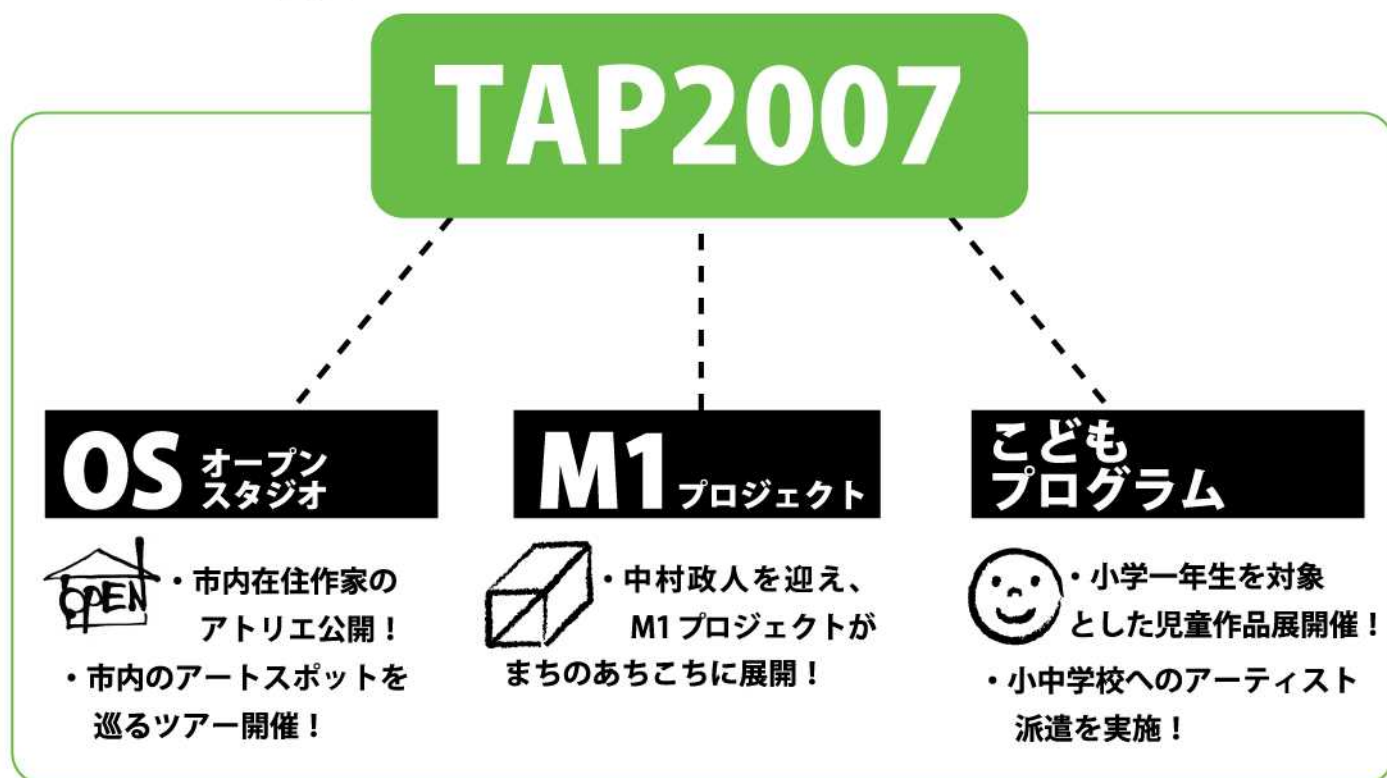
会期 2007年11月9日(金)～11月25日(日)

上記のうち金・土・日の計9日間

(11月9・10・11・16・17・18・23・24・25日)

会場 茨城県取手市内各所(旧茨城県学生寮跡地などを予定)

<TAP2007 プログラム概略図>



主催	取手アートプロジェクト実行委員会 (取手市/東京芸術大学/アート取手/取手市教育委員会/取手市商工会/財団法人取手市文化事業団/茨城みなみ農業協同組合/取手美術作家展) 茨城県南地域「創造のまち」支援事業実行委員会
助成	財団法人 地域創造/公益信託タカシマヤ文化基金
連携	第23回国民文化祭・いばらき2008 プレイベント 藝大創立120周年記念プログラム JOBAN アートライン関連企画

OPEN オープンスタジオ 主要プログラム

取手市には100名を超えるアーティストが暮らしています。オープンスタジオでは作家のアトリエを公開し、身近にいる芸術家との交流をはかります。前回(2005年)は27軒のアトリエが公開されました。大盛況だった、作家のアトリエや市内のアートスポットを巡るアートツアーを今年も計画中です。現代アートをはじめさまざまなジャンルのアトリエ公開を通して、「アートのまち取手」を探究します。

*現在、在住作家のリサーチをおこなっています。

参加作家の最終決定は8月下旬の予定



2005年のオープンスタジオ：ミーナは「生きた彫刻」とも呼ばれるインドの古典舞踏オリッシィを披露。

M1 プロジェクト 主要プログラム



現在M1は芸大の敷地内で出番を待つ。中村政人、新堀学を交え、ディスカッションを重ねている。

中村政人(アーティスト/東京芸術大学准教授)、またアドバイザーとして新堀学(建築家)を迎え、中村が継続して展開している<M1プロジェクト>-セキスイハイムのM1ユニットをリユースし、まちの中でアートを仕掛けるプロジェクト-を市内各所で展開します。TAPと市内外の文化団体などとのコラボレーションにより、M1へのアプローチの幅を広げ、取手の日常生活に新たなアートシーンを生み出します。

*参加団体の決定は8月中旬の予定

*中村政人、新堀学のプロフィールは別紙参照

😊 こどもプログラム 継続プログラム

■児童作品展

テーマ「のぞいて ひろげて わたしのはこ」

取手市内の小学校(全18校)に通う1年生全員(約800人)に、「のぞいて ひろげて わたしのはこ」というテーマで、M1を連想させる箱に自由に作品をつくってもらいます。昨年までは平面の画用紙に絵を描いてきましたが、今年は立体的な箱を用いて、より深いアート体験を探ります。会期中は全作品を市内に一堂展示します。好評の「お友達の作品にお手紙を書こう!」も実施し、作品を展示するだけでなく、双方のコミュニケーションを生み出します。

■アーティスト派遣

学校の授業にアーティストを派遣し、児童作品展のサポートや、作家の個性を生かしたオリジナルのワークショップをおこなうアウトリーチプログラムです。昨年度は9回実施しました。



昨年の児童画展。多くの方が訪れ、絵と手紙を媒介としたコミュニケーションがうまれた。



中村政人（なかむらまさと）プロフィール

1963年秋田県大館市生まれ。

現在 東京藝術大学絵画科准教授。「美術と社会」「美術と教育」との関わりをテーマにさまざまなアート・プロジェクトを進める社会派アーティスト。

東京藝術大学大学院美術研究科修了後、韓国（1990-1992）、香港（1997）への留学を経験、第49回ヴェネツィア・ビエンナーレでは日本代表作家として参加、国際的に注目を集める（2002）。現在、アーティスト・イニシアティブ<コマンドN>を主宰。近年は、2005年8月に新たな活動拠点「KANDADA」（東京神田）を上げたほか、富山県氷見市での<ヒミング>、故郷である秋田県大館市での<ゼロダテ>、セクスイハイム M1のリユースプロジェクトなど、地域に活力を切り開くアートプロジェクトを展開している。また日本にとどまらず留学以来ゆかりの深いアジア各国においても、アート・プロジェクトに関わっている。

<ヒミング> (<http://www.himming.org/>)

<ゼロダテ> (<http://www.zero-date.com/>)

セクスイハイム M1 (<http://www.sekisuiheim1.com/>)

<コマンドN> (<http://www.commandn.net/>)



新堀学（しんぼりまなぶ）プロフィール

1964年埼玉県生まれ。建築家。

1989年 東京大学建築学科卒業後、1989年-1996年 安藤忠雄建築研究所を経て、1999年 新堀アトリエ級建築士事務所設立。2003年-現在 NPO 地域再創生プログラム副理事。

建築作品として、明月院桂橋、福岡M邸、小金井K邸、川越S邸、コンバージョン研究会実証設計、天真館東京本部道場、東京大学COEプロジェクトとして北京胡同再生計画アクションなど。スタディ活動として、2000-2004年リノベーション・スタディーズ研究会に設立参加。2003年大分蒲江町建築都市再生ワークショップにファシリテータとして参加。2006年より建築学会機関紙「建築雑誌」編集委員。著作では、リノベーション・スタディーズ（共著）、コンバージョン設計マニュアル（共著）、リノベーションの現場（共著）がある。

NPO 地域再創生プログラム (<http://www.npo-rprogram.jp>)

<セクスイハイム M1 とは>

鉄骨構造のボックス型ユニットを工場で生産し、それを建築現場において組み合わせるといったものです。これにより、建築にかかる日数が大幅に短縮され、工場における生産比率が高いことから高いレベルでの品質が確保されることとなりました。さらに、高い耐震性を持ち合わせているなどの背景から、量産化住宅として全国に広まり、日本の景観を形作る重要な建築物として、DOCOMOMO JAPAN が選定する日本のモダニズム建築 100 選に選ばれました。特定の建築物ではなく、M1 構造そのもののコンセプトが選定されたことは非常に画期的なことと言えます。